

日本・ウズベキスタン外交関係樹立 30周年記念

いざな
青が誘うウズベキスタン
萩野矢慶記写真展

Enchanted by Uzbekistan Blue: the Photographs of Haginoya Keiki

2022 11.26 Sat — 2023 2.26 Sun

会場

横浜ユーラシア文化館

1階 ギャラリー

2階 常設展示室（一部）

主催 横浜ユーラシア文化館 後援 駐日ウズベキスタン共和国大使館





①



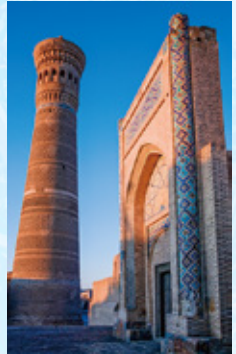
②



③



④



⑤



⑥



⑦

萩野矢 慶記（はぎのや けいき）略歴

1938年栃木県生まれ。専修大学卒。1983年サラリーマンを経て写真家に転向。「子ども」と「海外旅行」に魅せられ、ライフワークとして撮り続ける。近年は「東京に咲く花」を加える。今日までウズベキスタンなど60カ国と国内全都道府県を撮影取材。写真展、写真集、実用書、雑誌、コマーシャルなどで多くの作品を発表。2007年に横浜ユーラシア文化館で企画展「青い煌きウズベキスタン 萩野矢慶記写真展」開催。公益社団法人日本写真家協会、同日本写真協会、一般社団法人日本旅行作家協会会員

- ① NORIKO 学級（日本語学校）の女子生徒 フェルガナ リシタン
- ② ボボエチャというおじさん人形を売る露店 タシケント
- ③ ナン売り場コーナー フェルガナ
- ④ 窯から焼き上げた製品を取り出す陶工 フェルガナ リシタン
- ⑤ 夕日を浴びるカラーン・ミナレットとアリム・ハーン・マドラサ プハラ
- ⑥ ウズベク料理のシャシク（肉の串焼き）を焼く男 タシケント
- ⑦ 黄金で装飾されたティラカリ・マドラサのドーム内部 サマルカンド表面 グーリ・アミール廟 サマルカンド

古代

から東西交易の中継地として有名なウズベキスタン。青の都サマルカンドや城塞で囲まれた古都ヒヴァが有名ですが、最近では色鮮やかなスザニ（刺繍）や陶芸などの工芸品が日本でも知られるようになり、さらに注目を集めてきています。

本年は日本・ウズベキスタン外交関係樹立 30 周年にあたることにちなみ、ウズベキスタンで撮影取材を重ねている写真家 萩野矢慶記氏の写真展を開催します。萩野矢氏は、1991 年に独立したウズベキスタンで日本人として初めて写真撮影を行いました。その作品は世界遺産として有名なプハラ、サマルカンド、ヒヴァのようなオアシス都市の歴史的建造物はもちろん、工房の職人やバザール（市場）に集う人々など現在のウズベキスタンの姿を伝えてくれます。本展では、写真作品 50 点余りと色鮮やかな陶器や可愛い土人形、ドッピという男性用帽子なども展示します。ウズベキスタンの新たな魅力を古代から現代まで幅広く紹介します。

観覧料 1階…無料

2階常設展示室

- ・一般…200円
 - ・小中学生及び横浜市内在住の65歳以上…100円
- 毎週土曜日は小・中学生、高校生の観覧料は無料



アクセス

- ・みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口（直結）
- ・JR根岸線「関内駅」南口、市営地下鉄「関内駅」1番出口（徒歩10分）
- ・市営バス・神奈中バス「日本大通り駅駅前」（徒歩1分）

横浜ユーラシア文化館

〒231-0021 神奈川県横浜市中区日本大通 12 ☎045-663-2424
<http://www.eurasia.city.yokohama.jp/>

新型コロナウイルス感染防止のため、会期・開館時間等を変更する場合があります。最新の情報はホームページまたは電話にてご確認ください。